

Recherche 00516 ロマンティックドレス仕様書

布帛用

パターンパーツ数 12

～付属品～

接着芯

留め具(ボタン・スナップ等)

サイズ	80	90	100	110	120	130	140	150	
丈	45.5	50	55	60	65.5	70.5	75	80	
肩巾	19.5	21.5	23.5	26	27.5	29.5	31.5	33.5	
バスト設定 ※	54	57	59	62	66	70	76	82	
ウエスト	48	51	53	56	60	64	70	76	
袖丈	半袖	9	10	11	12	13	14	15	16
	長袖	28	31	35	38	42	46	50	53
用尺 (110巾)	120	130	145	150	170	200	215	220	

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

- 裁断前に必ず地直しを行ってください。
- 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略しています。
- わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 作り方 -----

※以下の「裁断」「ノッチ」「芯貼り」は平行して作業します。

裁断

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

接着芯を貼るパーツは少し大きめに粗裁ちします。(※接着芯を貼ると生地が縮む為、接着後に裁ち直します。)

ノッチ(合印)を入れます

※ ノッチ(合印)とは、縫い代に0.3 cm程度の切り込みを入れることです。

※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

衿に接着芯を貼ります

下になる衿の裏面に接着芯を貼ります。

ギャザー粗ミシン

ギャザー位置の縫い代に粗ミシンをかけます。



ミシンの縫い目の長さを大きくします。
上糸調子を弱くします。
生地の上表面を上にし、縫い線と平行に2本の粗ミシンをかけます。

ギャザー指定の場所(前身頃・前スカート・後身頃・後スカート・袖山・袖口)全てに粗ミシンをかけます。

※ミシンの目盛を元に戻します。

身頃

「前身頃」と「前ウエストヨーク」を中表に重ね、合印(ノッチ)を合わせ、まち針で留めます。





粗ミシンの下糸(生地裏面側)の糸を2本揃えて引きます。

ウエストヨークと同寸になるまで糸を引き、目打ちやピンセットでギャザーを均等に整えます。



縫い代をアイロンで抑えます。



出来上がり線を直線ミシンで縫います。

※ギャザーの向きが歪まないように目打ちで整えながら縫い進めます。



「前スカート」にも同様にギャザーを寄せ「前ウエストヨーク」と縫い合わせます。





「前身頃+前ウエストヨーク」の縫い代を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。

同様に「前スカート+前ウエストヨーク」の縫い代を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。



両方の縫い代を「前ウエストヨーク側」に倒し、表からコバステッチをかけます。



後身頃も同様にギャザーを寄せ「後身頃」「後ウエストヨーク」「後スカート」を縫い合わせます。

SL・脇



「SL」を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。

「前身頃の脇」を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。

※CF 側にはかけません。

「後身頃の脇」を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。

見返し

「見返しの端(パターンに指示のある側)を 3 mm 切り落としながら 5 mm 中のロックをかけます。



「前身頃」と「前見返し」を中表に重ね、「衿付け止まり～裾」を直線ミシンで縫います。



縫い代の角を切り落とします。



「前身頃」と「後身頃」を中表に重ね、「SL」を直線ミシンで縫います。

縫い代をアイロンで割ります。



「前身頃」と「後身頃」を**中表**に重ね、「脇線」を直線ミシンで縫います。

縫い代をアイロンで割ります。



「脇線の裾」の縫い代を切り落とします。※左画像

縫い代をアイロンで割ります。

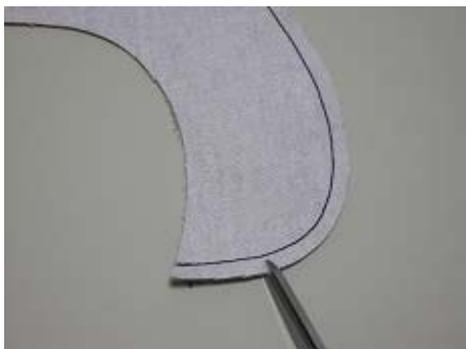


「裾」を**3 mm**切り落としながら**5 mm**巾の**ロック**をかけます。

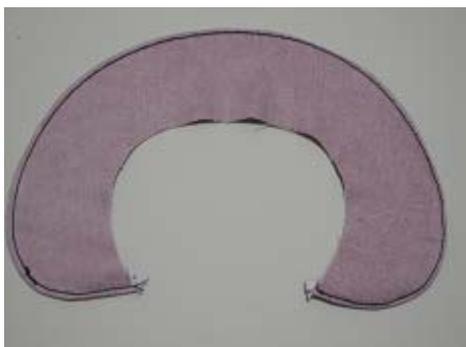
衿



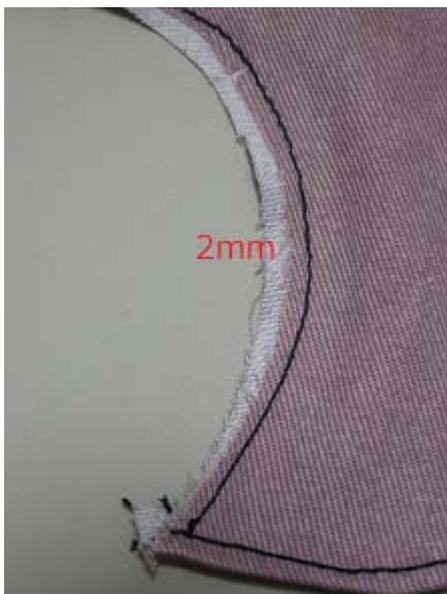
「衿」×2 を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。



縫い代を 5mm にカットし、切り込みを入れます。
※カーブのきついところは多めに入れます。



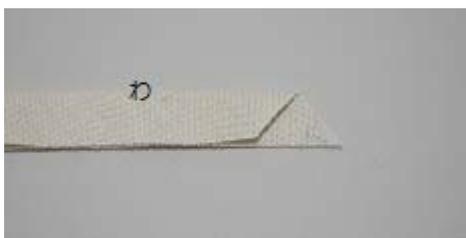
表に反しアイロンをかけます。
「衿の外周」にコバステッチをかけます。



「衿の内周」に押さえミシンをかけます。
この時、下側になる衿の縫い代が 2mm 程度はみ出すように縫います。



僅かに膨らみます。
こうする事で衿の跳ね返りを防ぐ事ができます。
※衿の返りのゆとりは生地の厚みによってかわります。
衿を着用時のように折り曲げ、調節します。



バイアステープを作ります。

※本仕様書では 18mm のバイヤス裁ち生地を半分に折ったものを使用しています。(9mm 巾)



「衿」を「身頃」と「見返し」に挟み込み、縫い代を合わせます。

※衿端は衿付け止まりに合わせます。



その上にバイアステープを重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。※下画像





「身頃」と「衿」の縫い代をバイアステープの縫い代に切り揃えます。

※厚みのある生地の場合は少しずらしてカットします。

縫い代の角も切り落とします。

「見返し」を表に反します。



「バイアステープ」を身頃側に倒し、ステッチをかけます。



「衿付け止まり～前端～裾～反対側前端～反対側衿付け止まり」の出来上がり線にアイロンをかけ、ステッチをかけます。

※衿で隠れる位置から縫い始めます。

見返しの浮きが気になる場合は見返しロック側に押さえステッチをかけます。



袖



「袖」と「袖口」をギャザーを寄せ縫い合わせます。



袖下を 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。
※縫い代は袖口側に倒します。



袖口の出来上がり線を
アイロンで折ります。

アイロンの折り目を開き、袖下の縫い代同士を中表に重ね、袖下の出来上がり線を直線ミシンで縫います。
縫い代をアイロンで割ります。



「袖口」の縫い代を織り込み、表からステッチをかけます。

※左画像のように覗き込みながら縫います。

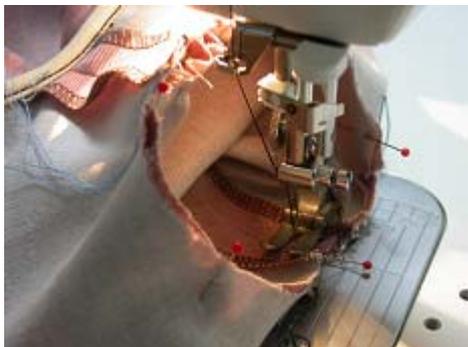


「身頃」と「袖」を**中表**に重ね、合印を合わせ、まち針で留めます。

ギャザー位置は粗ミシンの糸を引き、同寸にします。



出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代を 1 mm 切り落としながら 5 mm 巾のロックをかけます。

留め具

お好みの留め具を付けます。

----- 完成 -----